

新年度に入って一カ月。そろそろ新しい環境・体制にも慣れてきた頃でしょうか。

今年度は、塾の中で自分の評価を高める仕事の仕方、テーマに関連をスタートしています。前回は、自塾の理念や方針をよく知ること、それに則った行動が評価されるという内容をお話ししました。

今回は、上司の期待を知り、自分の役割を正しく捉えることをテーマに解説します。



上司の期待を知る

多くの場合、あなたの仕事ぶりを評価するのは、直属の上司でしょう。あなたが教室スタッフであれば、評価者は教室長、あなたが教室長であれば、評価者はブロック長やエリア長という感じでしょうか。もしかしらば、塾長が一人ひとりの評価をされる塾もあるかもしれません。

自分の評価を確かなもの

にするには、評価者たる上司が、あなたにどのような仕事ぶりを期待しているかを知ることは不可欠です。

毎日同じ教室で一緒に仕事をしていたら、上司が期待していることはおのずとわかるものではないでしょうか。ミーティングでのやりとりや、日常の指示の中に、あなたへのメッセージが込められているはず。すなわち、わからない、あるいは、改めて聞いてみたい、同じように働

という人は、一度上司の方

に「面談」をお願いしてみることをお勧めします。新入生への対応などでバタバタする時期を避ければ、上司も喜んで対応してくれるに違いありません。

自分の責任・役割を理解する

次に、自分の責任・役割を再度認識することです。等級が上がったりポストが上がったりすれば、当然それまでとは責任範囲も仕事上の役割も変わってきます。また、特に異動もなく同じ教室で同じポジションで仕事をしていても、経験を積み重ねれば、当然それに伴った中身も求められてくるはず。すなわち、去年と同じように働

いていから去年並みの評価が得られるかというと、それは違うということ。例えば、主任やリーダーなどという肩書きはつかなくとも、後輩ができれば、当然後輩への指導を行う立場になるでしょう。直接的な指導だけでなく、身近な良き模範者であることが求められてくることも忘れてはなりません。

今年一度、自分の責任や役割を再確認してみてください。自分の置かれている立

場を知ると、今の自分に欠けているところが見えてくるはず。それを埋める努力が、あなたの評価を高めることに直結します。また、その努力を続けければ、評価アップのみならず、職業人としてのあなたの価値そのものが高まるに違いありません。

今年一度、自分の責任や役割を再確認してみてください。自分の置かれている立

上司の期待・自分の役割を理解する

(株)新経営サービス・人事戦略研究所 コンサルタント 小林由香



小林 由香 ● ことばやし ゆか

元大手上場学習塾校長。新経営サービスでは、新入社員から管理者層まで、幅広く教育研修を展開するほか、人事制度策定を専門分野としてコンサルティング活動を展開中。特に塾業界にマッチした人事制度、給与の決め方、講師のモチベーションアップ、アルバイト講師の戦力化などのテーマでのコンサルティング実績は豊富である。主著に『塾・予備校版 仕事の基本マスターブック』があり、業界初の講師マニュアル本として好評発売中。

● 問い合わせ先
(株)新経営サービス
TEL: 075-343-0770
E-mail: kobayashi@skg.co.jp

ありそうでなかった
『講師育成本、好評発売中！』

新人講師・若手社員の自習テキストに！
内定者・採用研修時のサブテキストに！
塾長・教室長の現場研修の手引きに最適！

＜塾・予備校版 講師入門＞
「仕事の基本マスターブック」

仕事の基本から、授業テクニック、授業以外の業務まで、塾長の言いたいこと、すべて網羅！

お問い合わせは、
JESDA/ 日本教育システム開発協会
TEL: 03-3384-8991 (担当: 山本) まで。